

第5回傷害予防教育セミナー

わが国では、1960年以降、0歳を除いた小児の死因の第1位は「不慮の事故」となっています。最近では、事故死が死因の第2位になっている年齢層もありますが、子どもの健康問題として「不慮の事故」が大きな位置を占めていることは変わりありません。

事故による傷害の予防は重要な保健活動のひとつですが、現時点では、「気をつけましょう」「目を離さないで」と言われているだけで、その評価はまったく行われていません。現実には、十分に気をつけていても事故は起こり、目を離さなくても、見ている目の前で起こるのが子どもの事故です。注意喚起だけでは、予防にはつながりません。WHO（世界保健機関）も、「見守り」「心構え」では子どもの傷害は予防できないと明言しています。外因による子どもの健康被害を予防するためには、科学的なアプローチが不可欠です。

本会では、科学的に評価できる方法で、事故による傷害を予防するための方法論、また実際に使用できるツールを紹介するセミナーを開催しております。本年も、学術集会の開催に合わせて開催いたしますので、ぜひご参加ください。

公益社団法人 日本小児保健協会 会長 秋山 千枝子
同 傷害予防教育検討会 委員長 山中 龍宏

日時：平成29年6月29日（木）14：00～16：30（日本小児保健協会第64回学術集会開催時）
会場：大阪国際会議場 第4会場 11F 会議室 1101-2（大阪市北区中之島5丁目3番51号）
参加費：会員3,000円／非会員6,000円（税込）※事前振込となります。振込方法は受付通知時にご案内いたします。

定員：30名 ※先着順・定員に達し次第締め切らせていただきます。

申込み方法：E-mailにて日本小児保健協会事務局（E-mail: jsch-soc@umin.ac.jp）にお申込みください。申込必要事項は、①氏名（ふりがな）、②所属および部署、③職種（保健師・助産師・看護師・医師・その他（その他詳細：)), ④連絡先メールアドレス（必須）、⑤郵便番号、⑥住所、⑦電話番号、⑧会員登録の有無（会員番号：)です。受け付け後、受付完了通知をお送りいたしますので、受信可能な送付先のメールアドレスを必ずご記載ください。

《プログラム》

1. 子どもの傷害の実態と傷害予防の考え方
2. 傷害の情報収集の実際
3. 製品や環境改善へのアプローチ
4. 意識・行動変容へのアプローチ
5. 調査、研究方法の実際
6. 子どもの安全チェックツールの紹介
7. 傷害予防ワークショップ

【本件連絡先】

公益社団法人 日本小児保健協会事務局

TEL：03-3868-3093 FAX:03-3868-3092 E-mail: jsch-soc@umin.ac.jp

URL: <http://www.jschild.or.jp/>

第5回 傷害予防教育セミナー参加申込書

フリガナ

①氏名： _____

②職種：保健師・助産師・看護師・医師・その他（ _____ ）

勤務先 _____

部署 _____

③連絡先： 勤務先 ・ 自宅 ※必ずチェックを入れてください。

〒 _____

住所 _____

TEL _____

FAX _____

※FAXでお申し込みの方には、
参加証等はこの連絡先に送信します。

④会員登録： 会員（会員番号： _____ ） ・ 非会員

※不明の場合は未記入でかまいません。

【申込方法】

Eメールにて、日本小児保健協会事務局にお申込みください（件名を「第5回傷害予防教育セミナー申込み」としてください）。手続き終了後、事務局より「受付通知書」をお送りいたしますので、受信可能なEメールアドレス、FAX番号を必ず記載してください。

公益社団法人 日本小児保健協会事務局

FAX:03-3868-3092

E-mail:jsch-soc@umin.ac.jp

URL:http://www.jschild.or.jp/